

まめってえ通信

第27号

平成24年7月27日

発行
NPO法人
まめってえ鬼無里
住所 長野市鬼無里
日影 4258-1
電話 050-3736-6218
FAX 020-4622-9939
毎月1回ぐらい発行
まめってえ鬼無里



「小麦の収穫」をしました。
現在 86歳の米山さつきさん。たぶんまめってえの会員の中では、最年長と思います。2年前にご主人を亡くされ、広い畑の耕作をどうしようかと相談されました。日当たりがよく、肥えた畑を草だらけにするのは、涙が出るほど悲しいというさつきさんの気持ちがよく理解できました。何を作付けしようかと悩んだ末、小麦の種を蒔きました。この頃では鬼無里地区ではあまり作られなくなった麦ですが、昭和30年代までは多くの家で、栽培されていました。春には緑の穂が風になびいていましたが、あっという間に茶色くなり、7月22日(日)刈取りをしました。脱穀した麦は、300kgほど収穫できました。製粉して食べるのが楽しみです。

まめってえ鬼無里 今後のスケジュール

- ・8月11日～19日おでやれ鬼無里 夏
- ・9月2日 食の文化祭(夏)

8月イベント(他団体主催)※は要申し込み

- 8/19 ※奥裾花自然環境学習会
＜清涼深い森ウォーキング＞
 - 8/26 きなさ市＜冷汁のふるまいあり＞
※料理講習会 ￥1,000
- 「鬼無里の笹寿司」 先着20名 10:00～

里山クラブ「間伐材を利用した木工教室」 ～マイ箸をつくろう！～

7月4日・5日、鬼無里小学校の全校児童と先生方と一緒に箸づくりをしました。長さ20センチ、1センチ角に切られた木材の切れ端を、高学年の児童は、小刀やカンナ、サンドペーパーなどを使ってお箸の形にしていきます。なかなか小刀がうまく使えずに悪戦苦闘する子どももいれば、上下どちらでも使えるように削る子どももいました。カンナを初めて使った子どもの中には、削った木くずをおうちの方に見せるといって、持ち帰った子もいました。低学年の子どもたちは、あらかじめ荒削りしておいた箸の材料を2種類のサンドペーパーを使って丁寧に磨くことをしました。すべすべに磨きをかけ箸の形になったところで、くるみで仕上げ磨きをしました。割ったクルミを布にくるみ、手でつぶして油を出し箸にぬりました。出来上がったお箸を得意げに先生に見せたり、お友達同士で見せ合ったり、さっそく給食で使ってみようと話している子どももいました。最後に子どもたちから「大切に使います。」という声が聞けてとても嬉しくなりました。

《おでやれ鬼無里 夏》

参加されるアーティストの皆さんのご紹介

今年第二回目グループ「もの」の展示会には8組が出品。

池田憲昭 水彩絵の具によるイラスト画。物語を念頭に置いた絵を中心にポストカードを展示します。

岩本千穂 動きやすく、洗濯に耐え、着心地の良い服に憧れ、3

〇年間生成・自然素材で自分の着たい服を作ってきました。年数回の作品展を開いています。

大家憲子 ギャラリー嘉楽土のオーナー。作り手の素材・デザインにこだわった手仕事の作品を紹介。布物・陶磁器・ガラス・

木工等、年8回の企画展を開催しています。

小倉正巳 日大芸術学部美術学科卒業後、グラフィックデザイナーを経て一九八八年よりイラストレーターとして活動。広告から児童書まで幅の広い活動をしています。ヨーロッパ風のメル

ヘンなポストカードと絵本を展示します。

大日方揚子 一〇数年前からビーズアクセサリーを作っています。昨年の展示会には真鍮のスプーンを出品。今回は若山さんの作品を使ったアクセサリーを作ります。

栗原 麗 桑沢デザイン研究所卒業後、イタリアで靴の勉強。一九七二年に東京でバッグの工房設立。現在は船橋でギャラリー

& バッグの工房を持ち、バッグを製作中です。

宅間淳子 一九九六年、NHK学園にて彫金を始め、二〇〇〇年に初個展を開催。以後複数のギャラリーにて、天然石を利用したシルバーのアクセサリーを多数出品しています。

優 也 一九九三年生まれ。中学一年生から写真を撮り始め現在に至る。若い写真家の卵の作品にご期待下さい。

若山隆良 陶器のボタンを中心に展示。昨年と今年文京区のギ

ャラリーにての個展を開催。

多くの方の来場をお待ち申し上げております。

＜いろは堂ギャラリー情報＞<http://www.irohado.com/> 火曜日定休 5・8・10月は無休

8月1日～8月20日 長野美穂さん イラスト

8月22日～9月10日 小林みさ江さん

パッチワーク